

令和5年度 長崎小学校グランドデザイン

学校教育目標

「共に学び、共に生きる子どもの育成」



【めざす教職員像】

- ・児童の成長に寄与する教職員
- ・子どもの良さを見つけ自信を育てる教職員
- ・自己研鑽に努める教職員



【めざす学校像】

- ・基礎基本となる学力が身につく学校
- ・全ての児童の居場所となれる学校
- ・児童や地域から愛着を持たれる学校



【めざす児童像】

自ら律することのできる子	判断力のある子	人との関わりから学ぶ子
<ul style="list-style-type: none"> ・自分や友達の良さや弱さを認め合える子 ・きまりやルールの意味を考え、守れる子 ・進んで行動する子 	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで学習する子 ・自分で考え工夫する子 ・学習したことを活かせる子 ・身のまわりの出来事に関心を持ち、改善を図ろうとする子 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標を持って頑張る子 ・進んで活動参加する子 ・失敗にくじけない子 ・挨拶や受け答えができる子 ・進んで運動し、元気に遊べる子

学校経営の重点

協働・協力による教育

- ・学年担当制、教科担当制による学年運営を進め、複数教員の協働による学習指導、生徒指導、特別活動指導を行う。
- ・いじめの未然防止、早期発見、早期対応を組織的に行う。

児童自ら考えさせる教育

- ・生徒指導の3機能を活かした学年学級経営を行う。
- ・発達段階に応じて、児童自らがより良い方法や解決策を発見できるよう努める。

ユニバーサルデザインをベースに置く教育

- ・環境や指導に常にユニバーサルな視点を持つ。
- ・児童の多様性に対応できるよう常にバイアスをかけない指導に努める。

全教育課程を通じた確かな学力の育成

- ・長小タイム、はげみタイムを活用し基礎学力の習熟を図る。
- ・モジュールや45分授業を使い、児童自らの計画による補充発展的な学習を行う。

関わり合いから学ばせる教育

- ・学年、学級や異年齢集団の活動を通し所属感を高める。
- ・思いやりや規範意識を他者との関わりの中で育てる。
- ・情報発信や交流を通して、家庭や地域と協働した取り組みを行う。

安全・安心で充実した学校生活

児童の安全な登下校

- ・登下校見守り隊やスクールガードとの連携
- ・PTA地区委員や保護者の見守り
- ・時季に応じた職員による登下校指導やパトロール

近隣校との連携

- ・八木中学校区学校運営協議会の整備
- ・幼保との情報共有
- ・メールの相互受信による対応の迅速化